

きみつ KIMITSU 20世紀遺産マップ



道

桜

公園

井戸

歴史

風景

滝

ダム

湖

碑

1 房総往還

2 鹿野山道

3 久留里道(参勤交代道)

4 八重原歴史遺産を巡る遊歩道

5 小糸川沿岸歩行者専用道・桜並木

6 船塚山からの眺望

7 成願寺堀・しだれ桜

8 福岡の桜並木(鹿野山参道碑)

9 大道沢公園

10 三本松公園

11 久留里の大井戸・自噴井戸

12 山本の「殿の下井戸」

13 上総掘り用具

14 三舟山陣跡

15 秋元城跡

16 君津市漁業資料館

17 久留里城

18 鹿野山九十九谷

19 寂光不動・笠石からの眺望

20 折木沢・猪ノ川溪谷

21 坂田の新開谷池・大開谷池

22 豊英大滝

23 高岩大滝

24 三島ダム・三島湖

25 豊英ダム・豊英湖

26 亀山ダム・亀山湖

27 片倉ダム・笹川湖

28 漁業権放棄記念碑(人見・坂田)

29 芭蕉句碑

30 小糸の「上総掘発祥地碑」

31 有線放送電話発祥之地記念碑

房総往還は、江戸から安房北条(館山市)に至る古道の総称です。江戸時代から明治に、文人・画家や多くの人々がこの道を通って鹿野山に訪れた。久留里藩が参勤交代に使い戦後街道と呼ばれていた。現在国道410号線。九十九坊廃寺跡、鐘ヶ淵や殿島神社等、八重原地域を中心とした14ヶ所を歴史遺産を巡るコースです。

サイクリングやジョギングをはじめ四季折々の花々や桜並木が楽しめる道です。小櫃平原から海岸の工場群や、空気の澄んだ時には富士山も望むことができます。4万㎡の人口の堰と、境内には総面積100年といわれる「しだれ桜」があります。皇太子(現天皇陛下)のご誕生を祝して、地元青年団により、昭和9年から約千本の桜が沿道に植栽された。参道にある碑は、これを記念として建立されたものです。延長1.2km、面積3.9haの公園で、自噴水を利用した小川を再現しています。旧松丘村役場跡地に造られた公園の中心には、陣屋跡の大きな石が立っています。豊富に湧き出る井戸水は、「久留里の銘水」とか、「久留里の生きた水」と呼ばれ親しまれています。昭和62年に掘削された井戸で、24時間豊富な水が湧き出しています。君津は「上総掘り」発祥の地で、復元した用具は久留里城址資料館に展示されています。永禄10年(1567年)8月、里見軍と合戦を行うため北条軍は三舟山に陣を築いた。秋元兵部少輔義正が築いたといわれ、里見氏の支城として重要な役割を担ったという。漁業が盛んであった頃の様子や漁具、海苔養殖の歴史などを展示しています。昭和53年完成の天守閣は、2層3階建て、延べ面積190㎡、高さは15mあります。九十九谷展望台公園からは、「天下の奇観なり」と称された眺望が望めます。大塚山や鹿野山、高岩山や八郎塚などの山並がパノラマのように広がっています。周囲にそそり立つ絶壁と新緑や紅葉がマッチして壮観な眺めが楽しめます。美しい景観を至る所ともに動物の貴重な生息地であるとともに、市街地のオアシスとなっています。

滝は、落差7.5mと2.5mの二段に分かれており、幅は約20mあります。市内は最も落差のある滝で約13mあり、周辺には高岩山や石剣太師山等があります。昭和18年から太平洋戦争を経て、完成までに25年を要した農業専用ダムです。昭和44年完成した工業専用ダムで、貯水量は420万tあります。県内最初で最大の多目的ダムで、総貯水量は1,475万t(東京ドーム12杯分)。市内にあるダムの内、最も新しい多目的ダムで、平成13年11月に完成。漁業権放棄によって、臨海工業地帯の造成が始まり、新生「君津市」の発展の基礎となった。

地元俳諧の社中が俳句芭蕉の句に習い、自らの俳諧の向上を願い建立しました。上総掘発祥を後世に伝えようと、小糸町教育委員会が昭和37年に建立しました。有線放送の先駆けは、昭和19年亀山村に集落内の緊急連絡用として試験的に始まったことによりです。

※遺産の詳しい紹介は君津市のHP(ホームページ)でご覧になれます。 アドレス <http://www.city.kimitsu.chiba.jp/> 問い合わせ先: 君津市経済部商工観光課 TEL 0439-56-1325

